

特別栽培うめ栽培情報 第2号

令和7年4月14日
稲積梅の里振興会
特産氷見稲積梅生産組合
J A 氷 見 市
富山県高岡農林振興センター

1 生育概況

本年のうめの満開期は、3月29日頃（前年比+24日、平年比+10日）と、前年、平年より遅くなりました。4月中下旬～5月中旬までは、黒星病やアブラムシ類等の重要防除時期です。薬剤は、散布ムラがないよう丁寧に、十分量を散布してください。

2 今後の病虫害防除

時期	対象病虫害	散布薬剤名	希釈倍数	100㎡当 必要薬剤(g, mL)	10a当 散布量
4月19～ 21日頃	黒星病	オーソサイド水和剤80	1,000倍	100g	250㎡
	シンクイムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類	ダイアジノン水和剤34	1,000倍	100g	
	展着剤	マイリノー	10,000倍	10mL	
5月10～ 11日頃	黒星病、すす斑病 アブラムシ類、ハマキムシ類	スコア顆粒水和剤 スミチオン乳剤	3,000倍 1,000倍	33g 100mL	300㎡

* 4月中下旬～5月中旬は、黒星病やアブラムシ類等の重要防除時期である。

* 防除は、散布ムラがないよう丁寧に行う。

* 農薬の使用前には、必ずラベルを確認する。

3 コスカシバについて

幹からヤニや木くずが出ている場合は、コスカシバの幼虫に食入されている可能性があります（写真1）。コスカシバの幼虫に幹を食入されると、樹が衰弱し枯死に至ることがあります。

ヤニや木くずが出ている幹や枝の中に、コスカシバの幼虫がいないか、ナイフ等で樹皮を剥いで確認し、幼虫を確認した場合は捕殺してください。



写真1 コスカシバの食入被害
（木くずやヤニ等がみられる）

4 カメムシ類の防除について

昨年、カメムシ類（写真2）の発生量が多かったことから、本年の発生量もやや多くなると予想されています。園地へのカメムシ類の飛来が多い場合は、5月中旬のスミチオン乳剤を、アクタラ顆粒水溶剤2,000倍（7日前まで、2回以内）に変更してください。



写真2 カメムシ類

左：チャバネアオカメムシ成虫
右：クサギカメムシ成虫

5 特別栽培について

特別栽培うめは、農薬の散布回数や化学肥料の施用量が制限されています。このため、除草剤の使用はできませんので注意してください。

特別栽培を行うほ場には、表示看板を必ず設置してください。

6 「氷見稲積梅」栽培計画及び栽培記録簿について

令和4年2月3日に「氷見稲積梅」がG I登録され、今後は「氷見稲積梅」栽培計画及び栽培記録簿（旧：特別栽培うめ栽培計画及び栽培記録簿）によって栽培管理記録を行う必要があります。必ず記入し、記入した栽培記録簿は収穫終了後2か月以内に、所属する団体へ提出してください。